

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KJUŜUA ESPERANTO-LIGO ESPERANTO-LIGO de TYŬGOKU kaj SIKOKU

La Movado

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KJUŜUA ESPERANTO-LIGO ESPERANTO-LIGO de TYŬGOKU kaj SIKOKU

Fondita en 1951 N-ro 848 oktobro 2021

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ôsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO
2-190, Sisaido, Tarami-tyô, Isahaya-si, Nagasaki, 859-0407,
MORIWAKI Yasumasa

ESPERANTO-LIGO de TYŬGOKU kaj SIKOKU
Kannonmen 14-1, Kusiki, Kitanada-tyô, Naruto-si,
Tokusima-ken, 771-0371, KITANI Tomoko

ENHAVO

ネットの世界大会をのぞいて.....	相川 節子 1-2
楽しい作文教室(122).....	塚本 猛 3
Kajero Libervola: Ne plu milito por vivi humanece	KITAGAWA Syozi 4
書評: Sesdek ok.....	伊藤 俊彦 5
対訳:源氏物語 第21帖 少女(19)・紫式部 /belmonto 6-7	
神戸紹介冊子を記念出版しました.....	森下 綱子 8
関西大会分科会: Pri retaj kunsidoj.....	FUKUDA Makoto 9
KLEG 賞を受賞して.....	@RyohoFuse 9
Kurantaj Vortoj.....	9
動詞不定形の用法について(1).....	沖 恵明 10-11
vidis eksciis sentis: Interesa poŝtkesto.....	11
La Movado: 2022年日本大会、中四国連盟ほか.....	12-13
楽譜: Marŝo de Pupoj (おもちゃのマーチ).....	13
Vortkruca enigmo / 作文教室成績.....	14
Mikspoto / 作文教室課題 / KLEG事務局日より.....	15
編集ノート.....	16

ネットの世界大会をのぞいて

相川 節子(京都府)

世界エスペラント協会(UEA)による第2回 Virtuala Kongreso de Esperanto が、2021年7月17日から24日まで行われた。北アイルランドのベルファストで開かれる予定だった第106回世界エスペラント大会に代わるもので、会場に集まるのではなく、ネット上ですべてが進行する。参加者は106の国と地域から1852人。本物の(?)世界大会同様、様々な番組が用意された。

自宅にいて参加できる大会

私自身は2007年の横浜以来、世界エスペラント大会とは無縁で過ごしてきた。飼い猫の世話と定年後に始めた貸会議室の運営とで、一泊旅行さえままならない日々を過ごしているからだ。新型コロナの流行にみまわれた昨年の大会はネット上で行われたと聞いたが、その時もさほど心は動かなかった。

今年も世界大会はネットで行われると聞いたのが4月、世界エスペラント協会の個人会員は参加費無料と耳にしたのが6月。ネットの大会とはどんなものか、まったく見当がつかないまま、「タダなら申し込まなきゃ損」というさもしい動機で参加登録。登録手続は専用サイトにUEA会員コードを入力す

るだけの簡単なもので、すぐに確認メールが届いた。

そして7月16日、今度は大会のサイトアドレスとパスワードがメールで送られてきた。こうして、「自宅の居間でくつろぎながら、パソコンかスマホを通じて参加できる世界大会」を初めて体験することになった。

ネットの利用という観点から大きく分けると番組は2種類になる。開会式や講演のように拝聴するだけの番組と、ネット会議の形で参加者が話し合う番組と。ただし、拝聴するだけの番組でも、番組によってはチャットの形で発言することができ、他の参加者の発言を読むこともできた。

プログラム一覧 — 紙の冊子との違い

このサイトでプログラムの一覧を見ることができののだが、あまりにも番組が多いのとネットの画面でページを繰る面倒さから、全部を検討することは難しかった。紙の場合と違って検索機能があるので、たとえば muziko という単語で検索すると、この単語を含んだプログラム名を持つ番組を選び出せる(ただし、muziko で検索したからといって、音楽番組を全部拾えるというわけではない)。そういう便

利さはあるけれど、冊子のページを次々に繰って参加したい番組を探す方がやはり便利だ。プログラムは紙の冊子の方がよいと思った。

24 時間、誰かが何かをやっている

プログラムを見ると、期間中 24 時間ほぼ切れ目なしに何かの番組がある。すでに済んだ番組には pasinta、現在進行中は nun、これからの番組は venonta と書かれている。nun のマークは赤字で、今何をやっているのかがひと目でわかって便利。

番組によっては、大会中に時間帯を変えて複数回やっていた。たとえば kat-ŝatantoj という番組は、プログラムによれば計 5 回あった。おそらく、世界のどこにいても自分の都合のいい時間に参加できるようにという配慮だろう。

開会式と閉会式は当然ながらそれぞれ一回だけだが、内容は録画でも見られるようになっていた。たとえば閉会式は日本時間の午前 2 時だったが、無理して起きている必要はないとあとでわかった。

Babilĉambro — 無政府状態の談話室

プログラムを見ると babilĉambro という名前の番組がやたらたくさんある。テーマ別のおしゃべり会というわけで、従来の faka kunsido にあたるものようだ。babilĉambro の説明には sen moderato, sen registro と書かれている。moderato は直訳すると「調整役」だろうか。責任者もないし記録をとる人もいませんよ、ということらしい。

上記の kat-ŝatantoj も babilĉambro のひとつで、それぞれが自宅でパソコンまたはスマホを前にしているから、愛猫といっしょに登場する人もけっこういて楽しかった。ほかにもいくつかの babilĉambro

をのぞいてみたが、私が見た範囲ではどれも司会者がいないし、途中で入る人、途中であいさつなしに消える人、終了時間後もそのままいる人など、無政府状態という印象。私自身がネット会議に慣れていないせいもあるけれど、誰が誰に話しかけているのかがわからずとまどう場面もけっこうあった。

講演とそれに関する試験

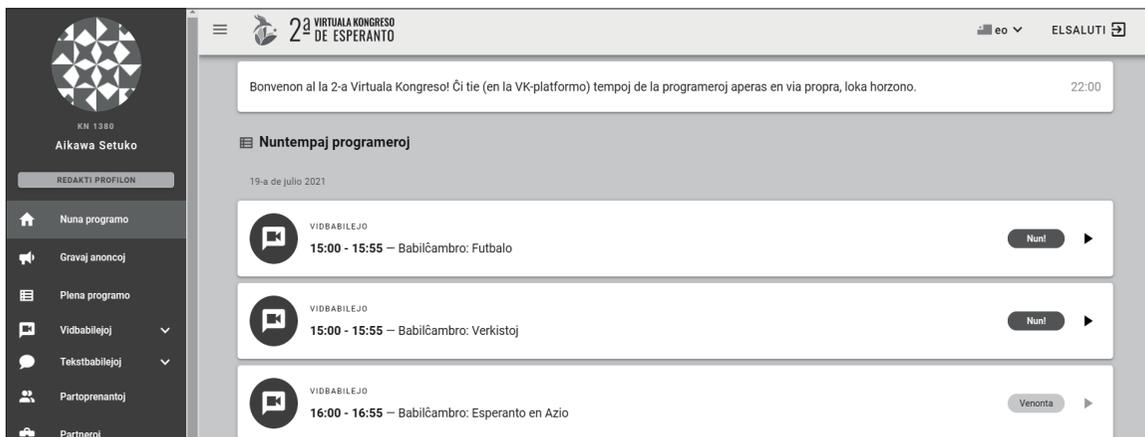
個人的に印象に残った講演は Amri Wandel さんの「ブラックホールと重力波」。講演内容は専門的で白状すると半分もわからなかったが、興味深かったのはそのあとのやり方。講師は講演内容について視聴者に 10 問の試験を出す。視聴者はその場で答をメールで送る。そして最初の正解者には賞品が贈られるというもの。実はほかの講演のいくつかも同じように試験があったと、あとで知った。

関係者に感謝

閉会式の進行中、チャット画面に次々と感想が書き込まれた。私も Multajn dankojn al la teknika teamo! と書いた。見えないところでさまざまな作業をされたであろう裏方のみなさんに感謝!



babilĉambro の一場面（左上の "Jitsi" は使用ソフト名）



プログラムの一部



①それはとにかく、原油は石油産業の原料だ。

【訳例 1】 Ĉiuokaze nafto estas krudmaterialo de petrolo-industrio. (ikona, 綴り修正 :Haveno)

【訳例 2】 La aferon flanken, nafto estas krudmaterialo de petrol-industrio. (ヒー坊)

【訳例 3】 Ĉiuokaze nafto estas krudmaterialo por la naftoindustrio. (Drako)

「それはとにかく」は、前の事項を認めながらも別の事項について話す時に使います。訳例のように ĉiuokaze (すべての場合に、いずれにせよ) が使えます。原油は nafto、石油産業は naftoindustrio、petrolindustrio で表現出来るでしょう。

訳例 2 の前半は ni lasu la aferon flanke (その事は横に置いておこう) という意味だと思います。「それはさておき」といったところでしょうか。なお、ĉia だと ĉiaokaze (どんな場合にも、何はともあれ) で、antaŭ ĉio だと「なによりまず」という表現になります。

②原油なしではあの産業が立ち行かない。

【訳例 1】 Sen nafto la industrio ne povas teni sin. (Haveno)

【訳例 2】 La industrio ne povas teniĝi sen la nafto. (CA)

【訳例 3】 Sen nafto oni ne povas teni tiun industrion. (Ivajo)

「原油なし」は sen (~なしに) が使えます。「立ち行く」は事業などが成り立っていくという意味です。行くを使うなら iri (進む)、保持するという意味では teni ion (~を維持する)、あるいは daŭrigi ion (さらに続ける) から daŭrigebla (持続可能な) などが考えられます。

訳例 1 は主語を「産業」にして teni sin (なんとか生活する) を使い、原油なしでは産業が維持できないと表現しています。訳例 2 の teniĝi は teni sin と同様の意味です。訳例 3 は tiu industrio を teni の目的語にして「あの産業を維持できない」としています。tiu を tia にすると「あんな産業を維持できない」になります。

③何とかできないものだろうか。

【訳例 1】 Ĉu ni ne povos trovi ian rimedon. (Jasuko) ⇨ 解説

【訳例 2】 Kion ni povas fari. (Haveno) ⇨ 解説

【訳例 3】 Kian rimedon ni povas preni? (Celejo)

この文はできるかどうかの質問ではありませんが、疑問文にするには疑問符が必要です。ĉu を使う場合も、解決する方法を検討していると考えて kiel や kio などの疑問詞を使う場合も同様です。

訳例 1 に疑問符を追加すると ĉu を使い jes, ne を求める疑問文になります。でも、質問したいわけではないので ĉu を削除し、疑問符を付けるだけではどうでしょう。疑問詞等を使わない疑問文ですが、相手から確証を得たりしたい気持ちの表現になると思います。ここで ia (なんらかの) を iu (どれかの) にすると、幾つかの候補があるような感じになります。ia と iu の使い分けに注意しましょう。

訳例 2 は「私たちに何ができるか」という疑問文です。kio は関係詞の場合もありますし疑問符を付ける方がいいと思います。訳例 3 も「どんな対策を取ることができるか」ということで、難題への対応を考えながらの発言になるでしょう。

④ひとまずどうなるか様子をみよう。

【訳例 1】 Provizore ni restu observante situacion. (綴り修正 :Haveno)

【訳例 2】 Ni vidu provizore kio okazos. (CA)

【訳例 3】 Provizore ni observu la rezulton. (Celejo) ⇨ 解説

「ひとまず」は、一時的に、さしあたって、という意味なので provizore (臨時に) で表現出来ます。「どうなるか様子をみよう」は、状態がどのように変化していくか、状況を見定めようということです。あえて何もせずに静観しようという意味ですから observi ion (観察する) が考えられます。

訳例 1 は ni restu senage, observante situacion (状況を見ながら何もしないでいよう) と表現しているのでしょうか。訳例 2 は、とりあえず何が起るか見よう、訳例 3 は、ひとまず結果を見ようという表現です。「結果」は少し違う感じがします。

restu observi の形の訳例がありましたが、resti ia/iel (ずっと~である) に動詞不定形を続けることはできません。observi は線動詞なので observu や observadu で表現出来ると思います。

成績は p.14、新しい課題は p.15

Ne plu milito por vivi humanece

KITAGAWA Syozi (Hukui)

軍人は上官の命令には逆らえない。人間的に生きようと思ったらまずは戦争をしないことだ。

Antaŭ unu jaro mi hazarde renkontis kortuŝan rakonton en la programo “Radio-arkivo” de la radio-elsendo de NHK la dua. Tie oni elsendis pri “La historio de personoj de Syowa-epoko kun registrita voĉo”, kaj tiam oni aperigis voĉon de s-ro Takahasi Akihiro, eksdirektoro de la Domo de Dokumentoj pri la Atombombo en Hiroŝimo, kaj parte reelsendis la programon “la Profundnokta letero en radio” de antaŭ 15 jaroj. Tiam komentis s-ro Hosaka Masayasu, la verkisto pri nefikciaĵoj.

La loko, kiu restis en mia koro, estas jenaj rakontoj: Iam s-ro Takahasi partoprenis en la Ekspozicio pri la atombombo, kiu siatempe okazis en la Domo por senatanoj de Usono, kaj tiam li intervidiĝis kun la kolonelo Tibbets, kiu estis la ĉefpiloto de la bombardata aviadilo B29 nomata “Enola Gay”, kiu per la atombombo bombardis Hiroŝimo-n. En tiu tago iu konato demandis lin, ĉu li intervidiĝos kun Tibbets, kiu hazarde estis proksime de la Domo. Li volonte jesis kaj realiĝis la intervidiĝo.

S-ro Takahasi diris, “Mi ne intencas tiel kulpigi vin kiel mi venĝos kontraŭ vi”, kaj komenciĝis la intervidiĝo per manpremo. En la interparolo s-ro Takahasi diris fronte al Tibbets, “Ni ricevis damaĝon pro la atombombo, do ni deziras al vi, ke vi neniam faru tian agon en la estonteco.” Kaj tiam Tibbets respondis, “Mi bone komprenas vian deziron, sed tamen mi faros saman agon, se denove okazos tute sama situacio. Esti militisto devas esti tia.” Verŝajne s-ro Takahasi malesperiĝis. Sed tamen... Tuj post la eldiro Tibbets aldonis jenan frazon, “Pro tio, oni ne devas okazigi militon.” S-ro Takahasi trankviliĝis pro tiuj vortoj.

S-ro Hosaka aldonis klarigon jene “Tiu ĉi intervidiĝo havas du historiajn signifojn. Unue, dum la tuta intervidiĝo Tibbets premadis keloiditan manon dekstran de s-ro Takahasi, kio ŝajnis, ke li en sia koro komprenis la koron de Tibbets, malgraŭ ke ne troviĝis memkritikaj vortoj pri la bombardo per la atombombo. Due, ili ambaŭ havis komunan bazon, ‘ne plu militon’, ĉar la milito ne povas eviti hommortigon.”

Aŭskultinte supran rakonton mi pensis, ke ne nur usonaj militistoj kiel Tibbets, sed ankaŭ du milionoj kaj tricent mil japanaj soldatoj, kiuj mortis en la lasta milito, neniam povis kontesti la ordonon de superuloj en la batalkampo, kia ajn la ordono estis. Dume, preskaŭ ĉiuj el ili estas nur bonanimaj civitanoj. Situacio, en kiu tiaj homoj devigite perdas homecon, ja estas ‘la milito’. Krome, mortis en la milito ankaŭ mia vera patro (rim. post la milito mi 3-jara fariĝis adoptito kaj adopta patro vivis ĝis 75-jara). Kvankam supozeble li spertis batali kontraŭ malamikoj kaj eventuale mortigi ilin, tamen en la foto postrestita lia vizaĝo estas plena de rideto milda, varma, kaj homeca.

Se ne estus la milito, ĉiuj el ili povus vivi humanece. Devas esti, ke la kolonelo Tibbets volas diri tiel.

Cetere, mi ne povas preterpasi unu gravan punkton. Eĉ se Tibbets asertis, ke pro la milito lia senhomeca ago ne estis evitebla, ni neniom indulgos lian krimon faligi la atombombon. Interalie, la sofismo, ke la bombardo de la atombombo fruiĝis la finon de la milito kaj multaj junuloj estis savitaj, kiun kredas plejpartaj usonanoj, neniel devas esti aprobita. Kvankam mi estimas la koron de s-ro Takahasi, kiu intencas ne venĝi kontraŭ usonanoj, ni ne povas neglekti pasintajn faktojn.

Mi kredas, ke ni povos vivi humanece, kiam ni firme rigardas pasintecon, sinkritikas, kaj celas estontecon, nome senmilitan mondon.

Sesdek ok

Sten Johansson 著、Mondial、2020 年刊 185p

伊藤 俊彦（愛知県）

この作品のタイトルは世界的な激動の年であった 1968 年を指している。もっとも、多くの人には 1968 年といっても何のイメージもわからないかもしれない。私事で恐縮ながら、私はこの年は田舎の高校一年生で、週刊誌などで日本の大学紛争、ベトナム反戦運動、パリ五月革命、プラハの春とその終焉、中国の文化大革命といった世界の情勢を、息を詰めて見ていた。

私の場合は遠くからそれらの大事件を眺めていたにすぎないが、この作品の語り手のビョルンは、まさに身をもってその大事件に遭遇したのである。彼はスウェーデンの大学生。語学好きの非政治的な若者で、1968 年 1 月にヨーロッパのいわば周縁の地であるスウェーデンからパリのソルボンヌ大学に短期留学し、その過程で図らずも五月革命に遭遇した。学生デモに参加し、警官に追われて辛うじて逮捕を免れたり、解放区となったカルチュ・ラタンや大学の祝祭的な雰囲気の中を歩き回ったりする。第 8 章では五月革命の経過が日を追って詳細に辿られている。

もっとも、ビョルンはノンポリで、旧態依然としたソルボンヌでの講義にうんざりしてはいるものの、五月革命がどのような政治、社会状況のもとで起こり、何を訴えようとしたのかといった点について格別強い関心を抱いているようには思えない。五月革命が急速に終焉を迎えたことと相まって、次の章では、彼の関心はパリで親しく交わった二人の女性、ダニとそのルームメイトのマリー＝フランスのことに移っていく。ダニはエスペランティストで、ビョルンとは前年にスウェーデンで行われた SAT の大会で知り合ったのである。

ダニとマリー＝フランスは、地方出身で底辺に近い労働者。大学へは行っていない。彼女たちの目に映るパリは強固な階級社会で、彼女たちは五月革命と学生に強い共感を抱いている。ダニは熱心な読書家で、作中ではデュラス、サガン、サリンジャーなど当時の流行作家の名前が登場する。ビョルンは彼女にボーヴォワールの『第二の性』をプレゼントし、彼女は、さしてうれしそうでもなくその本を受け取る。また彼女はアルベール・カミュの作品を読むことを拒否するが、それはカミュがピエ・ノワール（アルジェリアから

の引揚者)で右翼であるからだという理由だった。ビョルン自身も小学校卒の鉄道員の息子で、家族で大学に進学したのは彼が最初である。

他方、スウェーデンでビョルンと同棲していたイングリッドは大学生で、父親は会社を営み、田舎に別荘を所有している。ビョルンは、知的で積極的な彼女に引け目を覚え、彼女が自分よりも上の階層に属していると感じている。そうした階層差も具体的に描かれていて興味深い。

イングリッドは、ビョルンがパリに滞在している間に毛沢東主義の過激なセクトに入り、外部から遮断された環境で暮らすことになる。そのセクトの成員は、毛沢東の文章を暗記し、内部での相互批判、自己批判を通じて、組織と思想の純化を図ろうとする。彼女自身も自己批判を強要され、幽閉されるが、セクトが解体したおかげでそこから逃れる。しかし、その後も、そこで被った深刻なトラウマから抜け出すことができない。ビョルンは帰国後、彼女に会い、対話を試みるが、心を閉ざした彼女との対話はうまくいかない。

ある評者は本書をクリストファー・イシャーウッドの短編『さらばベルリン』をもとにしたブロードウェイ演劇『私はカメラ』を想起させると述べている。これはナチスが台頭しつつあった 1930 年代初頭のベルリンを舞台として、イギリス人学生とアメリカ人のキャバレー歌手との恋愛を描いた作品である。ライザ・ミネリ主演の映画『キャバレー』の原作でもある。女性が意志的に活動し、男性はそれに翻弄される。その主人公同様、ビョルンもいわば受動的な存在であって、1968 年に自分が何を体験したのか、パリでは何が起こったか、そうしてイングリッド、ダニ、マリー＝フランスという女性たちの当時の行動がどういう意味を持ったのかを考えるために手記を書くことを思い立つ。

作者の Sten Johansson は 1950 年生まれ。本作品は老年に差しかかった作者が自身の同時代体験を反芻しつつ書いた青春小説としての側面を持っていると思う。文章は練達の作者らしく、きわめて読みやすく、女性たちとの会話も生彩がある。3人の女性たちとの会話、また、気位の高いイギリス人の女子学生やロンドンの病院の看護師との気まずい会話のシーンはことに面白い。なお、版元の Mondial はニューヨークにある出版社で、原作文学、翻訳、ノンフィクションなどエスペラントで書かれた本を精力的に刊行している。

El “Rakontaro Genĝi”, 11-a jarcento

21 Dancistinoj – Wotome – (19)

源氏物語 第21帖 少女 をとめ

eljapanigis belmonto

Li kaŝis falantajn larmojn gracie. Vidante tiun figuron, ŝi plorploris en larmoj:

“Persono postlasita de la patrino estas tre kompatinda, je iu ajna rango estos tiu. Post maturiĝo laŭ sia sorto neniu mokos malbone, do ne restu en obsedita pesimismo ĉiam. Se la forpasinta Ĉefministro vivus iom pli longe, la situacio estus pli bona. Kiel senfinan zorganton mi ankaŭ fidus vian patron, tamen aferoj ne ĉiam kuras glate. Ankaŭ oni laŭdas la sintenon de la Meza Ministro, komparebla al neniu, sed ŝajnas al mi, ke li ŝanĝiĝis de antaŭe kaj donis al mi multajn batojn. Longe vivi estas malŝatinde^{*1}. Junulo kiel vi, kiu havas longan vivon, malĝoje komprenas la socion kaj dronas en trista konsiderado — ĉio estas evitinda en la mondo.”

Ŝi kontinue ploradis.

29) festoj en la nova jaro

Jen la unua tago de la luna januaro. *Genĝi* ne devis ĉeesti en la ceremonio de la Palaco, kaj restis en sia domo kun facila animo.

Laŭ la precedenco de la Ministro *Joŝifusa*^{*2}, oni kondukis la paradon de Blanka Ĉevalo al *Nideŭvin*, kaj en la etsezona tago oni okazigis en lia domo la ceremonion imite al la Palaco, aldonante pluan eventon en tre grava kaj pompa maniero ol en la precedenco.

Post la dudeka tago de la luna februaro, la Mikado ekskursis al *Suzakuvin*, la rezidejo de la eksmikado *Suzaku*. La sezono estis iom pli frua ol plena ekfloro de sakuro, sed ne eviteble, ĉar la luna marto estis la memormonato de la forpasinta Mikadino Visterio. Frue floranta sakuro estis ankaŭ tre fascina, kaj *Suzaku* bone preparis riparante kaj polurante sian palacon, kaj ankaŭ atentis pri ĉio, laŭvice de la *kamdati*-2021.10

とて、涙の落つるを紛らはいたまへる気色、いみじうあはれなるに、宮はいとどほろほと泣きたまひて、
「母に後(おく)る人は、ほどほどにつけて、さのみこそあはれなれど、おのづから宿世(すくせ)宿世に、人となりたちぬれば、おろかに思ふ人もなきわざなるを、思ひ入れぬさまにてもものしたまへ。故大臣(こおとど)のいましばしだにものしたまへかし。限りなき蔭(かげ)には、同じことと頼みきこゆれど、思ふにかなはぬことの多かるかな。内大臣(うちのおとど)の心ばへも、なべての人にはあらずと、世人(よひと)もめで言ふなれど、昔に変わるのみまさりゆくに、命長さも恨めしきに、生ひ先遠き人さへ、かくいささかにても、世を思ひしめりたまへれば、いとなむよろづ恨めしき世なる」
とて、泣きおはします。

朔日(ついたち)にも、大殿は御歩(あり)きしなれば、のどやかにておはします。

良房(よしふさ)の大臣(おとど)と聞こえける、いにしへの例になずらへて、白馬(あをうま)ひき、節会(せちえ)の日、内裏(うち)の儀式をうつして、昔の例(ためし)よりもこと添へて、いつかしき御ありさまなり。

二月(きさらぎ)の二十日あまり、朱雀院(すざくみん)に行幸(ぎやうかう)あり。花盛りはまだしきほどなれど、三月(やよひ)は故宮の御忌月(きつき)なり。とくひらけたる桜の色もいとおもしろければ、院にも御用意(ごようい)ことに繕(つくろ)ひみがかせたまひ、行幸に仕うまつりたまふ上達部(かむだちめ)親王(みこ)たちよりはじめ、心づかひしたまへり。人々皆青色に、桜襲(さくらがさね)を着たまふ。帝は赤色の御衣(ぞ)奉れり。召しありて太政大臣(おほきおとど)参り

moj kaj princoj, kiuj akompanos Lian Moŝton. Ĉiuj estis vestitaj per blua survesto oficiala kun subvesto sakurkolora, t.e. blanka surface kun ruĝa subŝtofo. Lia Moŝto estis vestita per la ruĝa survesto. La Ĉefministro venis laŭ la invito. Ankaŭ li estis vestita per la ruĝa samkiel Lia Moŝto, kaj ili estis brilantaj kvazaŭ unu homo kaj ne distingeblaj. Pri la vestoj kaj agmaniero oni preparis tre bone, pli speciale ol ordinare. Ankaŭ *Suzaku* fariĝis pli freŝa laŭ jaroj, kaj lia figuro kaj agmaniero pliiĝis je eleganteco. Hodiaŭ specialistoj pri la ĥina poezio ne estis invititaj, sed dek studentoj. Oni tamen donis temon al ili laŭ stilo de la ekzameno de la Departamento pri Ceremonio. Tio povus esti pro ke la filo de *Genĝi* estos ekzamenata. Kun hezito studentoj ne bone regis sin, kaj estis forlasitaj en lageta boato, ne ligita al la bordo^{*3}; tio pli turmentis ilin.

La suno fine subiris, kaj sur la lago ĉirkaŭfloris la du boatoj de orkestro. Sur ili muzikistoj provludis mallongan melodion por agordi, tiam la monta vento blovis harmonie por interesiĝo. Vespera Nebulo estis kaptita de la ideo malŝate, ke pli bone estus amike ludi, ol studi diligente en la universitato.

Kiam oni ludis la dancon "Kvivas la Prin-tempa Ugviso", ankaŭ *Suzaku* rememoris la tempon antaŭ multaj jaroj de la florfesto^{*4}, kaj diris:

"Ĉu ni povos refoje spekti tian fascinantan dancon?"

Lia vorto rememorigis la tiaman impreson sopire. Kiam la danco estis finita, *Genĝi* rekomendis la taseton de sakeo al *Suzaku*. *Genĝi* utais:

Ugviskanto tute samas
Kiel pep' ĉe l' Sudpalaco
Loko danci nun malsamas
Kontraŭ floro jen sen paco (daŭrigota)

تامفو. 同い赤色を着たまへれば、いよいよ一つものとかかやきて見えまがはせたまふ。人々の装束用意、常に異(こと)なり。院もいときよらにねびまさらせたまひて、御さま用意、なまめきたる方にすませたまへり。今日はわざとの文人(もんじん)も召さず、ただその才(ざい)かしこしと聞こえたる学生(がくしゃう)十人を召す。式部の司(つかさ)の試(こころ)みの題をなずらへて、御題賜ふ。大殿の太郎君の試み賜はりたまふべきゆゑなめり。臆(おく)だかき子どもは、ものもおぼえず、繫(つな)がぬ舟に乗りて池に離(はな)れ出でて、いと術(すべ)なげなり。

日やうやうくだりて、楽(がく)の船ども漕(こ)ぎまひて、調子ども奏するほどの、山風の響きおもしろく吹きあはせたるに、冠者(くわさ)の君は、かう苦しき道ならでもまじらひ遊びぬべきものを、と世の中恨めしうおぼえたまひけり。

春鶯囀(しゅんあうでん)舞ふほどに、昔の花の宴のほど思し出でて、院の帝も、

「またさばかりのこと見てんや」

とのたまはするにつけて、その世のことあはれに思しつづけらる。舞ひはつるほどに、大臣、院に御土器(かはらけ)参りたまふ。

鶯の
さへづる声はむかしにて
むつれし花の
かげぞかはれる

(つづく)

*1 cito el Ciang-cia. 莊子.

*2 = *Fudifara-no-Joŝifusa*. 804 – 872.

*3 Tio estas la maniero por preventi friponadon

en ekzameno, lasante ekzamenaton tute sola.

*4 Referencu la 8an volumon "Florfestoj". De tiam jam pasis 14 jaroj.

神戸紹介冊子を記念出版しました

森下 綱子 (兵庫県)

今年2月の大会実行委員会の議事録に次のように書かれている — 木元が提案しているこの件は、「出版」するには着手が手遅れで「副記念品」程度に考えて、できるだけことはやってみたらいいだろう。既に「出版」された過去のサンプルが木元に手渡された — 昨年の12月にも木元靖浩さんが「出版」を提案されたが、時間が足りないということで、この話は消えたと、私は思っていたのに。

…で、ナンダカンダあって、“Bonvenon al Kobe 更新版”を出版することが決まったのが5月6日(木)。“兵庫津、歴史の道”(その時は、まだ題名は付いてなかったが)を早くから木元さんに手伝いを申し出していた平野登さんの提案で4月27日の土曜例会からSkypeで読み直しを始めていた。2010年1月の月例会でekskursoするにあたり、赤田義久さんが用意してくれていたテキストだ。デジタルデータがなかったので、スキャナーで読み込んだものを文字の間違いをチェックし、固有名詞などは、すべて訓令式にするという作業を進めたが、使われている写真の出所がはっきりしない。

2007年に“Bonvenon al Kobe”を作った時、(財)神戸国際観光コンベンション協会から画像データの入ったCDを送ってもらっていたが、そのCDにも入っていない写真が混ざっている。新しくなっている(財)神戸観光局のHPにも欲しい写真がないので、私は、自分で撮ることにした。5月12日(水)は、兵庫(津)に、15日(土)は、移転していた花時計と生田神社の写真撮影に行った。花時計を撮るには高さが足りない。三脚代わりに折り畳み傘の先っちょのキャップを外して、カメラを付け、背伸びをして3秒タイマーで撮った。

“兵庫津、歴史の道”の読み直しが終わり、次はHPに載せている“Turismo en La Urbo KOBE”の読み直しを始めた。神戸のことはあまりわからないという金岡晴子さん(芦屋市在住)の新鮮な感想がとても役に立った。2007年に“Bonvenon al Kobe”を作った時に、入りきらなかった原稿が私の手元に残っていたので、“kurso”を追加することにしたが、元の原稿では、新神戸駅から布引の滝まで登り道を歩くことになるし、ハーブ園の紹介も加えたいので、どんなコースが良いのかわからず、とうとう6月9日(水)実際

に行って確かめた。とても良い天気で、お弁当を食べた後、木陰で20分ほどハンモックで揺れたのは、本当に気持ちよかった。その後、ハーブ園で貰った地図を見ながら貯水池に向かうと、道を間違えてしまった。kursoに書く道を確認するため、もう一度、登り直して道を確認し、クタクタになった。「…ハーブ園のゲートを出て右へ数分行くと、左に…」とややこしい書き方をしているが、この文を信じて歩いて欲しい。

「印刷屋に入稿」の経験がない私にとって写真が一番不安だった。ネットで調べてみたら、案の定わからない。ネットのやり取りだけで印刷を頼むのは不安なので、写真を撮り直しに行った敏馬神社の近くにある印刷屋をネットで見つけて、資料を持って5月25日(火)に行った。「担当者が出掛けているので、私で良ければ…」と女性が話を聞いてくれた。ピクセルというのが大事らしい。5年前のデジカメで撮った写真は、72ピクセル、今使っているデジカメは300ピクセルだが、冊子には350ピクセルのほうが良いという。色は、パソコンの画面は、光の三原色だが、印刷するとそれに墨色を足したようなくすんだ色になるらしい。ネットには「Wordは画質の初期設定が220ピクセルになっているので、変更しておくこと」とも書いてあった。

表紙の色は、緑と決めていたが、藤田紘子さんが市バスの緑が良いというので、調べたら2色あったので、ノンステップバスの色にした。6月30日(水)原稿とパソコンを持って、印刷屋でチェックして貰い、やっと届いた中道民広さんの校正した部分を入力し、7月9日(金)出来上がった原稿を持って印刷屋に行った。その3日後、初校を自宅まで持ってきてくれた。写真の色がキレイ! 96ピクセルも180ピクセルも300ピクセルと同じようにキレイに印刷されている。表紙の色は、確か私は、もう少し暗い感じにしたかったはずだが、もうどっちでも良かった。初校を手にはパソコンの画面を200%にしてニラメッコ。

7月14日(水)午前、大会実行委員会で初校を皆に見せ、午後2回目のワクチン接種を済ませ、帰り道に再入稿した。バンザイ!! 30日(金)配達してくれた冊子を見ても、初校を見た時ほど感動しなかったのは、いよいよ大会が始まるという緊張の方が強かったのかもしれない。皆さんありがとうございます。

Bonvenon al Kobe 24ページ 300円 KLEG 取扱

La Movado 848

Pri retaj kunsidoj (fakkunsido)

FUKUDA Makoto

Pro la pandemio niaj vivstiloj ŝanĝiĝis. KOVIM-19 influis ĉefe nian laborstilon. Nuntempe, multe da oficistoj laboras hejme.

En ĉi-tiu cirkonstanco ankaŭ niaj Esperantaj movadoj devas evolui.

Kioto-Esperanto-Societo estas unu el pioniroj, kiuj efike uzas interreton. Sinjoro MORIKAWA Kazunori nome de Kioto-Esperanto-Societo klarigis siajn retajn agadojn en la fakkunsido okazinta matene de la dua tago de la kongreso. La rondo enkondukis "Skype Meet Now"-n kiel videokomunikilon

por retaj kunsidoj.

Estas kvar specoj de regulaj kunsidoj en Kioto. Kvankam E-Babilejo okazas nur reale, ili kondukas lundan kurson nur rete kaj kunsidas merkrede kaj sabate reale kaj rete je la sama tempo.

Lia raporto estis admirinda kaj utila por mia propra ronda aktivado. Probable multe da personoj pensas, ke kunsidi rete estas malfacile. Sed, rememoru la pasintecon. Oni defiis ion novan kiam retroŝto estis enkondukita, kaj sukcesis.

Kompare kun tiama defio, la grado de malfacileco de novaj komunikiloj estas pli facile superebla. Ni defiu por ke nia Esperanta movado estu daŭrigebla!

KLEG 賞を受賞して

将来は AI をエスペラント活動に活用したい

@RyohoFuse (大阪府)

この度は伝統ある KLEG 賞を頂戴し、ありがとうございます。なお、私は第 23 回世界スカウトジャンボリーのエスペラントブース運営に参加しました。その際運営チーム (スカウトエスペラント連盟日本支部) として KLEG 賞を頂いています。(2016 年受賞)

紹介動画制作スタッフ全員に感謝いたします。ありがとうございます。機会があればぜひ作りましょう!

ところで最近、会社の上司から G 検定受験を勧められました。G 検定というのは AI についての資格です。せっかくなので、AI をエスペラントに使うてなにかできないかと考えています。

例:

- エスペラントの [コーパス] を AI で [コロケーション分析] して、一緒に使われる単語の組み合わせのデータベースを作成して学習に役立てる。
- エスペラントに関係するツイートを AI で分析してつぶやいた人の [クラスタ分析] をする。エスペラントに興味のあるクラスタに対して効果的なエスペラント広報を行えるようにする。

(興味がある人は上記 [] 内の用語をネット上で検索してみてください)

アイデアがどんどん湧いてきます。

AI に詳しいベテランのエスペランティストの方、一緒に何かやりませんか?

なお、KLEG 賞の副賞として KLEG で使える 1 万円分の図書券についてですが、KLEG 事務所に行けないこともあり、まだ使い道が決まっていません。もしお薦めの図書がありましたら教えてください。

編集部注: 「コーパス」とは、「自然言語処理の研究に用いるため、自然言語の文章を構造化し大規模に集積したもの」(Wikipedia) ですが、エスペラントでも "Tekstaro de Esperanto" などがインターネット上で利用できます。研究だけではなく、「この動詞にはこの前置詞が使えるだろうか?」と自分の文章を推敲するのもにも便利です。

Kurantaj Vortoj

デトネーションエンジン (宇宙) detonacia motoro
CP 対称性の破れ rompoj de CP-simetrio
パラリンピック Paralimpikoj (Paralimpiaj Ludoj)
スケートボード rultabulo
クライミング grimrado
コーパス korpuso (aŭ tekstaro)
人獣共通感染症 zoonozo

動詞不定形の用法について (1)

沖 恵明

動詞不定形 (-i) は、動詞定形の直説法 (現在形 -as、過去形 -is、未来形 -os)、仮定法 -us、意志法 -u のような時制、仮定や命令などを伴った行為 (動作、状態) を示しません。そのため、中立法とも呼ばれています。そして、日本語で、「食べること」「遊ぶこと」などのように、行為の名詞的表現をします。そのため、名詞の仲間であると言ってもいいでしょう。この動詞不定形は、主語、目的語や補語などになることができます。しかし、定冠詞 (la) や形容詞を伴うことができないので、純粹の名詞自体が持っている性質とは少し違います。

また、動詞であるということで、動詞定形 (直説法、仮定法、意志法) と同じく自身の主語、目的語、補語を持つことができますが、動詞定形のように、文において、直接的に主語の動作や状態を述べる述語動詞としての役割は果たしません。しかし、間接的には主語の動作や状態を述べます。

また、前置詞を動詞不定形の直前に置くことができます。しかし、それは限定された前置詞だけです。それについては、「5. 前置詞 + 動詞不定形」の項で述べます。

このように動詞不定形は、動詞定形や名詞に似ていますが、それらとの相違点も持っており、それが動詞不定形の特徴となっています。

1. 主語として

動詞不定形が主語になると、その補語や修飾語は、名詞のように形容詞を用いるのではなく、副詞を用います。

・ *Manĝi estas ĝoje por mi.* (私にとって、食べることは、喜びです。)

補語として副詞 *ĝoje* が使われています。

・ *Dormi profunde donas al mi energion.* (深く眠ることは、私に活力を与えてくれます。)

副詞修飾語 *profunde* を伴っています。

・ *Bati hundon per bastono estas malbone.* (棒で犬をたたくことは、悪いことです。)

目的語を伴い、副詞 *malbone* は補語となっています。

2. 目的語として

動詞不定形が目的語になっても、目的語であることを示す対格語尾 -n は付きません。

・ *Mi ŝatas trinki bieron.* (私は、ビールを飲むのが好きです。)

trinki が *ŝatas* の目的語となっています。*bieron* は *trinki* (他動詞) の目的語です。

・ *Ĉu vi kuraĝas stari sur la malvasta supro de la kruta monto?* (あなたは、その険しい山の狭い頂上に立つ勇氣がありますか?)

これも同じです。ただ、*stari* は自動詞で、*kuraĝas* の目的語になっています。

3. 補語として

・ *Mia amikino helpis min kuiri.* (私の友達は、私が料理するのを手伝ってくれました。)

動詞 *kuiri* の主語は *min* になります。文全体から見ると目的語 *min* の補語になります。

・ *Manĝi estas vivi.* (食べることは生きることでず。)

Manĝi は主語ですが、*estas* を使っているので、*vivi* は主語の補語になります。

4. devi, povi, voli と動詞不定形の組み合わせ

これらの動詞の後に来る動詞不定形は目的語として扱われます。

・ *Li devis preni medikamenton pro malsano.* (病気のため、彼は薬を服用しなければならなかった。)

preni は *devis* の目的語と言えます。そして、*Li* が主動詞 *devis* の主語であると同時に *preni* の主語と解釈することもできます。

・ *Ili povis grimpi sian celitan monton.* (彼らは目指していた山を登ることができました。)

celi は他動詞なので分詞受身の形になります。

・ *Mi volas trinki akvon, ĉar mi soifas.* (のどが渴いているので、水が飲みたいです。)

・ *Li volas dormi frue.* (彼は早く眠りたいと欲しています。)

自動詞 *dormi* を使ってみました。

devi、*povi*、*voli* などのような動詞は他にもあります。*deziri* もその一つです。

5. 前置詞 + 動詞不定形

動詞不定形を前置詞の後ろにくっつけて前置詞句を作ります。しかし、今のところ、*anstataŭ*、*krom*、*por*、*sen* の四つの前置詞としか組むことができないとされています。例を挙げておきます。

・ *anstataŭ*

Mi kuris rapide anstataŭ paŝi, ĉar mi devis atingi la stacion ĝis la oka. (私は、歩く代わりに

速く走りました。なぜなら、8時までには、その駅に着かなければならなかったからです。）

Anstataŭ aĉeti domon, mi luis apartamenton. (家を買う代わりに、アパート/マンションを借りました。)

• **krom**

Mi ne povis trovi rimedon por transiri la riveron krom staradi tie, ĉar proksime de ĉi tiu loko ne troviĝis ponto. (そこに立ち尽くす以外、その川を渡るための方法を見つけることができませんでした。なぜなら、近くに橋が見つからなかったからです。)

Krom esti amata de ŝi, neniu min amas. (彼女に愛されている以外、誰も私を愛してはくれない。)

• **por**

Ni iru al la trinkejo Ebria por trinki bieron. (ビールを飲みに飲み屋「Ebria」に行きましょう。)

Mi eniris en la universitaton por fariĝi kuracisto. (医者になるため、その大学に入学しました。)

• **sen**

Li foriris sen diri adiaŭon al mi. (私にさよならも言わないで去って行ってしまった。)

Ĉu vi ne sentas malagrablecon sen baniĝi? (君は風呂に入らないで、不快さを感じないのですか?)

上に挙げた例のように、これらの前置詞は自動詞、他動詞の両方と組み合わせることができます。

ここに示された4つの前置詞以外の前置詞を使う場合は -i の代わりに名詞語尾 -o か -ado を用いましょう。

(例1) × pro malsaniĝi → ○ pro malsaniĝo

(例2) × antaŭ manĝi → ○ antaŭ manĝado

(つづく)

vidis eksciis sentis

Interesa poŝtkesto

redakcio

Ordinare poŝtkesto en Japanio estas ortangula kaj ruĝkolora. Sed en la urbo Uĵi troviĝas poŝtkesto kun formo de ronda vazo. Ĝi havas verdan koloron.

La formo montras vazon, en kiu oni konservis te-foliojn.

La urbo estas fama pro produktado de teo. En frua somero oni plukas foliojn de te-arbo, vaporumas ilin, kaj post certa procedo oni konservas la pretigitajn te-foliojn en ia ujo. Antaŭe oni uzis ceramikan vazon por konservi.

En erao de Edo (17-19 jarcentoj) te-folioj en vazo estis portitaj al Edo (nuna Tokio) por ke Ŝoguno gustumu bonkvalitan teon de Uĵi.

La poŝtkesto vazforma staras antaŭ la stacio Uĵi de fervojo JR.



この欄の原稿を募集します。身の回りのちょっとした話題をエスペラントで語るコーナーです。

長さは単語数 200 ぐらいまで。締切はありません。郵便で裏表紙の関西エスペラント連盟の住所へ、または電子メールで lamovado@gmail.com へ。写真はなくてもかまいません。

2022 年の日本大会は八王子で

第 109 回日本エスペラント大会は 2022 年 9 月 23 日（金・祝）、24 日（土）、25 日（日）に八王子市学園都市センターで開催される。大会テーマ：コロナ禍後の新しいコミュニケーション時代とエスペラント / Nova erao de komunikado kaj Esperanto post kronvirova pandemio。大会シンボルマークは、(高尾山薬王院の)天狗。デザインは公募する（謝礼あり）。

2022 年 9 月には流行が収まっていることを前提に八王子市で開く。またこの間ネット経由コミュニケーションがエスペラント界にも広がってきたので、ネットとのハイブリッドでの開催とし国内外の多くの人の参加を期待し、新しいコミュニケーション時代のエスペラントの在り方を議論。若い人や新興アジアのエスペラントの参加を呼びかけ、エスペラントを通じた異文化交流を実践しながら、お互いの国の歴史や現況を理解し合うことを目指す。 [←関東エスペラント連盟会長 山野 裕]

第 53 回韓国エスペラント大会

10 月 8 日（金）～ 10 日（日）15 時～ 17 時、20 時～ 22 時等、virtuale ズームによる非対面方式。テーマ：Plantu por Morgaŭo: Strategio por la 2-a Jarcento de KEA (韓国エスペラント協会)。

10 月 8 日（金）

15 時～ 17 時：外部との共同行事。主催 KEA、壇国大学ソク・チュソン記念館。講演：ホン・ソンチョ「エスペラント運動の先駆者ソク・チュミョン（石宙明）」、ソ・ジンス「ソク・チュミョンの遺品と 1930-40 年代韓国エスペラント活動」。

20 時～ 22 時 Inaŭguro kaj Prelegoj - KEA, KEJ
22 時～ 23 時 libera diskuto

10 月 9 日（土）

15 時～ 17 時 fakaj kunsidoj
20 時～ 22 時 Interkona kaj Kultura Vespero

10 月 10 日（日）

15 時～ 17 時半 Prelegoj
17 時半～ 18 時半 Fermo

参加費：会員 1 万ウォン、非会員 2 万ウォン（ざっと千円・二千円） [← belmonto、広報委員 チェ・スッキ]
2021.10

埼玉エスペラント会がアニメに字幕

イタリア・パルマのエスペラント会が制作した 16 分のアニメ “La aventuroj de Saĝa Steleto kaj de la Mirinda Teamo” に各国語の字幕をつけたいということで、埼玉エスペラント会が協力して日本語字幕をつけた。実参加の例会ができなくなり、リモート例会を行っているなかで、とても楽しい作業だった。URL: <https://www.youtube.com/watch?v=4mYkdHdyTfQ&t=95s>

現在エスペラントを含む 7 か国語の字幕が選べる。

なお、イタリア・パルマ側で中心になった Alessandra Madella さんは、ホリゾン出版新刊の “Esperanto por mi – 16 esperantistoj portretitaj de Helga Plötner” N-ro 3 に肖像画があり、エッセーでアニメ制作に触れている。

[←石川 智恵子、堀 泰雄]



吹田市民文化祭ふれあい講演会

11 月 3 日（水・祝）吹田市文化会館（メイシアター）小ホール（阪急吹田駅下車）で吹田市民文化祭参加エスペラントふれあい講演会を開催する。入場無料（事前申込制）、13 時半～ 16 時（開場 13 時）。矢吹芳教さん講演「地球環境を守る — 水環境とプラスチックごみ」 [←大畑 賀代子]

香川エスペラント会 8 月は休会

香川県の感染者数が過去最多を更新する状況で、8 月例会は夏休みを兼ね休会することにした。

9 月 26 日（第 4 日曜）、10 月 24 日（同）の例会はアイバル香川で開催。 [←小阪 清行]

中四国連盟オンライン例会

8 月 28 日（土）18 時～ 18 時半オンラインで開催。今回は会議ソフトに Zoom ではなく、Jitsi（ジツィ）を使用する。9 月 18 日～ 20 日に開催されるオンライン日本大会（広島）で、Zoom と Jitsi の二つの会議システムツールを使うことになり、その練習のため。

[←中四国エスペラント連盟 事務局 木谷 奉子]

8月の土曜エスペラント会

8月14日(土) オンラインで開催した。出席12人(うち、海外から2人)。2時間半の間、エスペラントで話した。

1. 「簡易製本機」(実演付き。用語集第2版出版

に使う機械)、2. 「赤黒健康法」(実演付き。赤ワインと黒ニンニク)、3. 「関西エスペラント大会」(写真付き。7月31日8月1日神戸)、4. 「パレスチナ」(同国と日本の生徒を結ぶオンライン国際交流)、5. 「ザメンホフの人柄」(ザメンホフに関する3巻本を再読して発見したこと)。 [←山川 修一]



Marŝo de Pupoj (おもちゃのマーチ)

poez. UNNO ACUŜI (1896-1925), muz. ODAŜIMA ĴUĴIN (1885-1959), trad. SIMATANI Takesi 

mf $\text{♩} = 120$

1) Mar - ŝas lu - di - loj kaj pu - poj el kes - tet'
2) Mar - ŝas lu - di - loj, rond - i - ras laŭ kas - tel'

f

5 Mar - ŝas pu - poj en pa - ra - do la, la, la!
Mar - ŝas bir - do kaj ku - pi - do la, la, la!

mf

9 Pu - paj sol - da - toj nun i - ras kun mus - ket'
Pu - pa kna - bi - no ek - dan - cas laŭ ron - del'

13 Hun - doj kaj ĉe - va - loj mar - ŝas la, la, la!
Flu - to kaj tam - bu - ro vig - las la, la, la!

おもちゃのマーチ

1923年東京日日新聞(現毎日新聞)発表の童謡
作詞 海野厚(うんのあつし、1896-1925)
作曲 小田島樹人(おだしまじゅじん、1885-1959)

- 1) やっとこやっこ くりだした
おもちゃのマーチが ラッタッタ
人形の兵隊 せいぞろい
お馬もわんわも ラッタッタ
- 2) やっとこやっこ ひとまわり
キューピもぼっぼも ラッタッタ
フランス人形も 飛びだして
笛ふきや太鼓が パンパラパン

Marŝo de Pupoj

poez. UNNO ACUŜI (1896-1925)
muz. ODAŜIMA ĴUĴIN (1885-1959)
trad. SIMATANI Takesi

- 1) Marŝas ludiloj kaj pupoj el keŝtet'
Marŝas pupoj en parado la, la, la!
Pupaj soldatoj nun iras kun musket'
Hundoj kaj ĉevaloj marŝas la, la, la!
- 2) Marŝas ludiloj, rond- iras laŭ kastel'
Marŝas birdo kaj kupido la, la, la!
Pupa knabino ek- dancas laŭ rondel'
Fluto kaj tamburo viglas la, la, la!

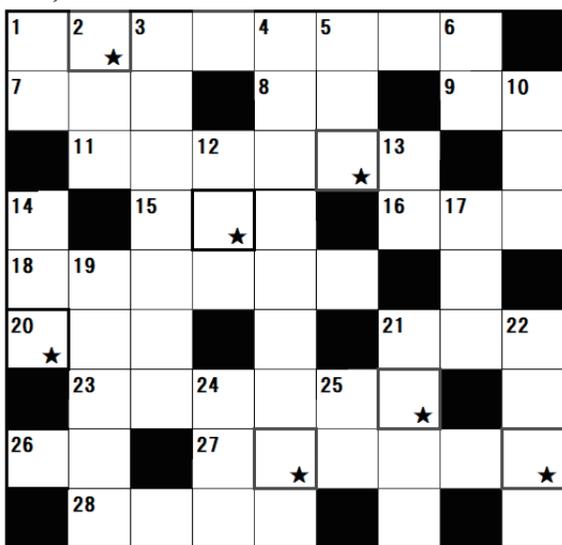
Vortkruca enigmo

TAKEMORI Hirotoŝi

Vicigu adekvate 7 literojn trovitajn en la kvadratetoj kun steleto. Tiam vi akiros nomon de sporto populara por junuloj, ne rultabulado.

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de oktobro, paperpoŝte al la oficejo de KLEG, aŭ retroŝte al <lamovado@gmail.com>

Rimarko: (x) signifas ke la vorto ne portas finaĵon.



Horizontale: 1. Du ~oj detruis du japanajn urbojn. (x) 7. Mi serĉas librobrokejojn per ~o. (x) 8. Mia ~o mortis en milito. (x) 9. La nova fervojo estas konstru~a en du jaroj. 11. Tomboj de nekonataj ~oj. (x) 15. Kuglo ~is preter lia kapo. Muŝo ~as. (x) 16. Estas ~ malfacile lin persvadi. 18. Viaj konsiloj multe ~ al mi. 20. ~eti diamanton. (x) 21. Cindrulino perdis unu el siaj ~j. 23. Maŝin~o povas mortigi multajn homojn. (x) 26. ~o savu homaron. (x) 27. Birdo, simbolo de paco. (x) 28. Araneo ~is sian reton. (x)

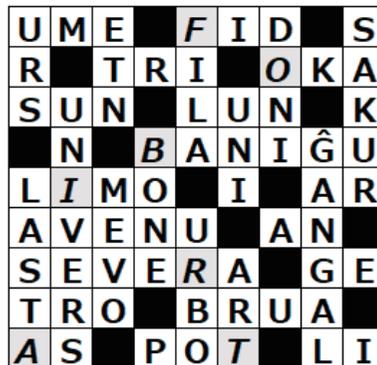
Vertikale: 1. ~u viajn malamikojn. (x) 2. Bonvolu doni al mi unu ~on da kafo. (x) 3. Ni devas ~i kontraŭ la leĝo. (x) 4. Plumprovizitan

pilkon oni ĵetas kaj reĵetas per rakedoj. (x) 5. Kokido elrampis el la ~ ŝelo. 6. ~filo estas edzo de mia filino. 10. ~ bone ! 12. ~i bebon al dormo. Mezopotamio estas unu el ~iloj de la civilizacio. (x) 13. Mi trinkas ~on ĉiumanĝe. (x) 14. Speco de mamula ungego. Ĉevalo, bovo, ktp havas ~ojn. (x) 17. ~i foton al albumo. (x) 19. Meti persan ~on sur la planko. (x) 21. Oni devas ~i la pordon kiam oni eliros. (x) 22. ♪ La ~oj de nokto forkuras el mond'!♪ (x) 24. Sen neĝo, deklivo kaj bastonoj, oni ne povas ~i. (x) 25. Mi preferas vinon ~ bieron.

La solvo al la aŭgusta enigmo: FARBITO

La ĝustan solvon donis 11 legantoj:

武藤 たつこ,
CA,
濱田 國貞,
TADA,
平井 倭佐子,
Grebo,
Sayuri,
松川 まきこ,
本田 照美,
にしのりこ,
島津 泰子



楽しい作文教室 (122) 成績

9人の方から応募がありました。() 内は留意事項です。

うん、良いね: Haveno(① petroio ③疑問符 ④ oservante), Celejo(④ rezulton), CA.

良いね: 松村 (③ povu, remedon), Ivajo, ikona(④ provovizore), ヒー坊, Drako(② tenus), Jasuko(① el ③疑問符)。

Mikspoto

(当欄は敬称略)

★ベルモント選集『源氏物語 Rakontaro de Genĝi』が Kindle 版で発売された。『源氏物語 4』(21 少女～26 常夏)、『源氏物語 5』(27 篝火～33 藤裏葉)、『源氏物語 6』(34/35 若菜上下)。2020 年 6 月に紙版で発売された “Rakontaro de Genĝi Parto I” 『源氏物語一』(1 桐壺～20 朝顔) およびその Kindle 版の続き。 [← belmonto]

★『週刊金曜日』8-13 号で「弾圧の時代に良心を貫いた言語学者・斎藤秀一 ～民衆の解放を願った 에스ペ란ティストの生涯が朗読劇に」というタイトルで、エスペ란ティスト斎藤秀一(ひでかつ)の生涯をテーマとした山形市の「平和劇場」での朗読劇が大きく取り上げられている。

7 月 31 日付『朝日新聞』山形県版にも朗読劇の記事が掲載された。 [←北川 郁子]

★8 月 11 日付『朝日新聞』朝刊社会面に「抵抗の足跡 戦後 76 年(1) 検挙 5 回曲げなかった『言葉』ローマ字教育 貧富の差うまぬよう」の題で斎藤秀一のことが大きく取り上げられた。エスペラントにも言及。「斎藤の人物像は英雄や超人ではない。国家主義の大波にのみ込まれた普通のまじめな学校教員だ」と。 [←山野 裕、北川 郁子、Junpe OKAU]

★こまつあやこ著『ポーチとノート』(講談社)が 10 月 28 日に発売される。女子高校生がエスペラントに

楽しい作文教室 12 月号課題(10 月 20 日締切)

①あの検察官は金で動く人間ではないとみる。

②君が知っている事実を話すのが重要だ。

③私の同僚たちは例外なく私と同じ意見だ。

④まあ、そこまで言うなら彼に会ってみよう。

(ヒント) 検察官 akuzisto、同僚 kolego, korupti, opinii, insisti を調べましょう。

日本語の原文の内容を伝えるには言い換えも必要かもしれません。

送付先:

[郵送] 〒 674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811 塚本 猛

[電子メール] c_tak@esperanto.ne.jp

(件名に「作文」の文字を入れてください)

添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

出会う物語。 [←北川 郁子]

★『ことのはアムリラート (Amrilato)』の続編『いつかのメモラージョ』英語版が発売された。2017 年発売の、異世界に迷い込んだ少女がエスペラントを学ぶ電子ゲームのシリーズ。『アムリラート』は 2019 年に英語版が出たが、2019 年発売の『メモラージョ』も 2021 年に英語版が出た。インターネット掲示板 “Libera Folio” に J-MENT インタビュー。 [←北川 郁子]

★イヤホンの手話を使ったミュージックビデオ「はじめまして」は、日本語を含めた 12 言語のあいさつを歌と画面で紹介している。

40 秒にエスペラントの “Tre agrable” も。URL: <http://earphones-official.com/news/post/281/> [←後藤 斉]



KLEG 事務局だより

★第 69 回 関西大会の

KLEG 書店の全体の売上げは、前月号で報告しましたが、今月は、よく売れた書籍をご紹介します。『エロシエンコのシベリアものがたり』6 冊。

後は次の書籍が 2 冊ずつ売れました。

『エスペラント実用作文教室』、『世界の旅人堀さんのエスペラント気ままエッセー 10』、『日エス現代用語集』、『ぼくとまもの 20 ねん』。

KLEG 後援会へのご寄付(2021年7,8月、敬称略)

匿名	10,000 円
匿名	10,000 円 (図書寄贈基金へ)
匿名	8,835 円
中道民広	5,000 円
梁池忠夫	1,200 円
柴山純一	600 円
平岡五城	600 円
川西徹郎	600 円

ご支援、ありがとうございます。

第 53 回 韓国エスペラント大会

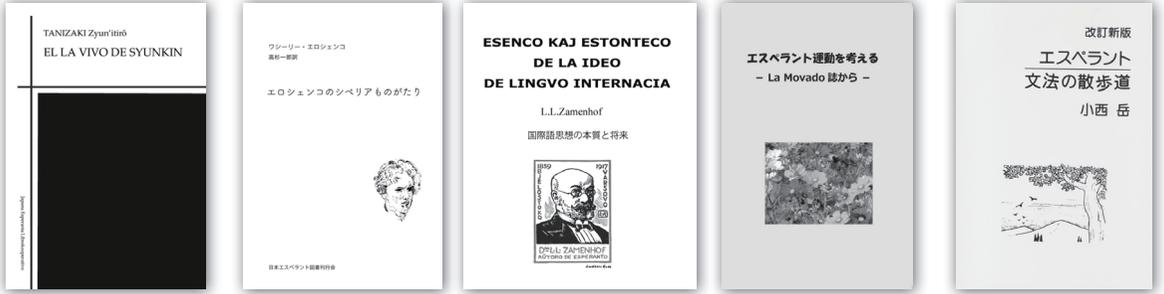
10 月 8 日(金)～10 日(日)

オンラインで

第 109 回 日本エスペラント大会

2022 年 9 月 23 日(金・祝)、24 日(土)、25 日(日)

八王子市学園都市センター



★ 新刊・新着 ★

El la vivo de Syunkin 800円

谷崎潤一郎「春琴抄」(宮本正男訳。初版ピラート社、1968年)。琴三弦の師匠春琴に弟子の佐助は献身的に仕える。耽美的な世界を独自の文体で描き、映像化も多い。日本エスペラント図書刊行会発行。A5判、90p.

エロシェンコのシベリアものがたり 800円

高杉一郎が翻訳したエロシェンコのシベリア体験にもとづく4作品。うち「チェスの三手詰め問題」は訳者没後に原稿が発見され、初出となる。日本エスペラント図書刊行会発行。B6判、112p.

Esperanto por mi 3 500円

歌手jOmO、百寿の中村文雄らエスペランチスト16人を画家ヘルガが鉛筆画で紹介。A4判、16p.

Raportoj el Japanio 24 1800円

堀泰雄の「報告」最新刊。世界のコロナ問題、東京オリンピック、唐丹の子ども支援の10年、沖縄戦、足尾銅山など多彩な内容。A5判、256p.

★ エスペラント、ザメンホフ、そして ★

Esenco kaj estonteco de la ideo de lingvo internacia 600円

エスペラントの原点を示すザメンホフによる論文。

希望する人 300円

土居智江子著。子どものためのザメンホフ伝。

エスペラントとグローバル化 900円

タニヒロユキ論考集。「民際語」とはなにか。

Esperanto運動を考える - La Movado 誌から

1000円

本誌掲載の論説56編を収録(峰芳隆編)。運動の現在と将来を考えるための好個の一冊。

★ 日本エスペラント図書刊行会の本 ★

Lingvo Stilo Formo 1000円

Kalocsayによるエスペラント論集の増補復刻版(原版は1970年ピラート社刊)。“Esperanta vortfarado” “La evoluo de nia poezia lingvo”など。

NARA, la eksĉefurbo en malproksimaj tagoj

1800円

奈良エスペラント会による古都奈良の案内書。原稿から現代まで奈良の歴史を点描。

Kiel verki hajkon en Esperanto 500円

広高正昭著「エスペラント俳句の作り方」第2刷。hajkoの作り方、秀句鑑賞、自選100句と季語の索引。

エスペラント文法の散歩道 [改訂新版] 1000円

小西岳の文法論。「kajとsed」「laの用法」他。

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

編集ノート



★ 9月号 p. 4 “Kajero Libervola” の mjanmarajn oficistojn は誤り。mjanmarajn oficirojn です。お詫びして訂正します。

★ 「語尾なし単語」と「日本昔話」は誌面の都合で休みます。(相川 節子)

発行所：ラ・モバード社 編集：相川 節子 発行人：染川 隆俊 定価280円 送料63円 1年3800円 送料共本局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204
電話 (06) 6841-1928 ファクス専用 (06) 6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.org
振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://www.kleg.org
九州支局：九州エスペラント連盟内 859-0407 長崎県諫早市多良見町シーサイド2-190 盛脇保昌方 電話 (0957)43-4352
中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 771-0371 徳島県鳴門市北灘町櫛木字観音面14-1 木谷 奉子方 電話 (088)688-1098